

# 大宅 映子(評論家・財団法人大宅壮一文庫理事長)

## ◎略 歴

1941年 東京生まれ

1963年 国際基督教大学卒業後、PR会社勤務。

1978年から始めたマスコミ活動では、国際問題・国内政治経済から食文化・子育てまで守備範囲広く活躍し、大所高所からの視野と同時に個人の立場で発言する切れ味のよいコメントが好評である。

これまで多くの審議会の委員をつとめてきたが、その範囲は、「地球的規模の環境問題に関する懇談会」、「医療保険福祉審議会」、「行政改革委員会」、「警察刷新委員会」、「教育改革国民会議」、「税制調査会」、「年金業務・社会保険庁監視等委員会」など広範囲に及び、日本の構造改革に関わってきている。とくに2002年、6月からつとめた「道路関係四公団民営化推進委員会」では最後まで監視の役を全う。

民間企業では、(株)高島屋社外取締役えおはじめ数社のアドバイザーメンバーもつとめている。財団法人大宅壮一文庫理事長。

## ◎レギュラー：

TBS-R「土曜朝イチエンタ。堀尾正明+PLUS!～大宅映子の辛口コラム～」(土曜日7:35—7:50)

TBS「サンデーモーニング」(月一回・生放送8:00—9:54)

YTV「情報ライブ ミヤネ屋」  
(各週水曜日・生放送13:55—15:50)

## ◎著 書

「わが娘に 母のこんな心を伝えたい」三笠書房(1988年)

「私の雑草教育」三水社(1990年)

「どう輝いて生きるか」海竜社(1990年)

「だから女は面白い」海竜社(1993年)

「いい親にならなくていい!」(2000年)

「親の常識」海竜社(2008年)

## ◎翻 訳

「エイズー手をつないだ位では感染しない」グラフィック社(1987年)